職員研修等年間実績

【共通】

開催月	研修会・会議等名称	主催者等	参加予定者
４月	災害、感染症、危機、危険動物対応研修	指定管理者	８名
４月	接遇研修、総務事務（会計・経理など）	指定管理者	８名
３月	救急救命講習（ＡＥＤ取扱研修）	指定管理者	８名

【子どもの国】

開催月	研修会・会議等名称	主催者等	参加予定者
６月	動物駆逐用煙火消費保安講習会	砂川市	３名
６月	自衛消防訓練	指定管理者	４名
８月	都市公園における「遊具の日常点検講習会」	一般社団法人日本公園施設業協会	１名
10月	自衛消防訓練	指定管理者	４名
11月	ヒグマ対策実践研修会		１名
２月	北海道立都市公園管理研究会	北海道	１名

【ネイパル砂川】

開催月	研修会・会議等名称	主催者等	参加予定者
４月	青少年教育スキルアップセミナー	大雪青少年交流の家	１名
５月	夏季及び野外調理プログラム研修	指定管理者	５名
５月	全道社会教育主事等研修会	教育庁生涯学習課	１名
６月	北海道青少年教育施設協議会所長運営会議	北海道青少年教育施設協議会	１名
７月	自衛消防訓練	指定管理者	５名
９月	施設設備・機器取扱研修	指定管理者	５名
９月	自然体験活動指導者養成事業	道立青少年教育施設	１名
10月	感染症及び食中毒等対応研修	指定管理者	５名
12月	北海道青少年教育施設研究協議会	北海道青少年教育施設協議会	１名
12月	道立青少年体験活動支援施設研修会	北海道青少年教育施設協議会	１名
１月	冬季プログラム研修	指定管理者	５名
１月	自衛消防訓練	指定管理者	５名
２月	地域生涯学習活動実践セミナー	道生涯学習推進センター	１名

※１　参加予定者数は、指定管理者職員対象者を記載している。
　２　他の機関等が実施する研修会等は、過去の開催実績により記載している。

運営実績について【共通】
協会の運営実績について

【共通】

当協会は、昭和 51 年に青少年の健康を増進し、かつ、その情操を豊かにするための施設（北海道子どもの国、ネイパル砂川）を管理運営し、もって心身とも健やかな青少年の育成に寄与することを目的に設立されました。また、当協会は中空知 5 市 5 町からの出資と運営への全面的な協力により、安定した運営体制が確立していました。

協会設立以来、46 年間公益活動を目的にした法人として（法人制度改革により H25.4.1 一般財団法人に移行）、事業目的を子どもの国とネイパル砂川の一体管理運営に特化し、事業運営を推進することにより、両施設の設置目的と一体管理の相乗効果を最大限に発揮させ運営して来ました。今後も、これまでの蓄積してきた経験により、子どもの国とネイパル砂川の一体管理を通して、両施設の設置目的をより一層発揮させ管理運営に当たりました。

運営実績

北海道子どもの国管理運営	
1	北海道との委託契約 昭和 53 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日　28 年間
2	指定管理者制度 平成 18 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日　4 年間
3	指定管理者制度 平成 22 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日　4 年間
4	指定管理者制度 平成 26 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日　4 年間
5	指定管理業務 平成 30 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日　4 年間
6	指定管理業務 令和 4 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日　5 年間
ネイパル砂川管理運営	
1	北海道教育委員会との委託契約 昭和 51 年 5 月 16 日～平成 18 年 3 月 31 日　30 年間
2	指定管理者制度 平成 18 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日　4 年間
3	指定管理者制度 平成 22 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日　2 年間
4	指定管理者制度 平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日　2 年間
5	指定管理者制度 平成 26 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日　4 年間
6	指定管理業務 平成 30 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日　4 年間
7	指定管理業務 令和 4 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日　5 年間

当協会の強み・弱み、連携先等について【共通】
「当協会の強みや弱み」また、その「強み」を施設運営に生かしていくための想定される連携や支援先等について

【共通】

当協会は、子どもの国とネイパル砂川の一体的な管理運営を目的に設立以来、46年の豊富な経験と管理運営の方策を蓄積していました。また、中空知5市5町からの出資を受け、役員・評議員も各市町から選出されていることから、地域の実情や特性に沿った意見等を事業や管理運営に取り入れて推進してきました。

現指定管理期間は、次の事項に重点を置いて業務の執行を図り、地域との協力体制を構築してまいりましたが、今後も指定管理期間においても、同様に重点を置き、更に地域との協力体制の強化を図りました。

1　理事会、評議員会での管理運営に対しての意見・要望を積極的に取り入れ、地域のニーズを最大限に生かし、地域に根差した管理運営を図りました。

2　地域に密着し、利用者の声を生かした施設の効果的な管理運営を図るため、地域の観光協会、生涯学習団体、子ども協議会、サークル代表等による「北海道子どもの国・ネイパル砂川利用者協議会」からの提言を受け、施設を最大限に有効活用し、両施設の相乗効果を発揮するよう一体的な事業を推進しました。

3　地域のまちづくりの方針や地元企業・関係団体等と連携・協働して、地場産業を活用した体験活動を展開するとともに、事業の共催・協賛により地域に密着した効果的な管理運営を展開しました。

4　施設管理と事業運営にボランティアの参加を得て、地域住民との協働の強化を図りました。

また、当協会は、事業目的を子どもの国とネイパル砂川両施設の管理に特化して設立され運営して来ていることから、設立経緯、運営・職員体制から目的以外の事業に幅を広げることは、現状では困難な面もあり、当面は、設置目的に合致した現在の指定管理業務に取り組んでまいりました。

【子どもの国】

次のとおり、地域住民団体等と連携事業を実施しました。

1　親と子が一緒に学び体験することにより親子の絆、子ども同士の仲間意識を培う等心身ともに健やかな青少年を育成する事業

事　業　名	協　働　団　体
子どもの国フェスティバル	学生ボランティア、社会福祉法人くるみ会、山一観光企業、㈲末広ミート、匠本舗、レフトハンドヒロ、(有) どりーむあーと、縁日屋、大道芸、(株) ジョイント北海道支社、ナベッチフードキッチンカー、
鯉のぼり掲揚事業	NPO法人オアシス
アメニティ・タウンすながわマラソン大会	砂川市・砂川市教育委員会・NPO法人ゆう

2　環境育成型の広域レクリエーション施設として、身近な地域の環境問題や自然の大切さを学ぶための参加・体験型の事業

事　業　名	協　働　団　体
ジャリンコ春体験塾	空知総合振興局森林室砂川事務所・砂川市教育委員会、ホロウフィールド、地域ボランティア
ザリガニ調査会	ザリガニと身近な水辺を考える会

3　中空知５市５町、地域企業、団体等と地域おこしや、地産地消を目的とした特産品等を販売、紹介する事業

事　業　名	協　働　団　体
子どもの国夏まつり	社会福祉法人くるみ会、㈲末広ミート、匠本舗、大西、どりーむあーと、
子どもの国秋まつり	社会福祉法人くるみ会、レフトハンドヒロ、匠本舗、北将工業、
なかそらち大収穫祭	中空知広域市町村圏組合（砂川市、滝川市、芦別市、赤平市、歌志内市、浦臼町、雨竜町、上砂川町、新十津川町、奈井江町）、㈱ノヴェロ、オアシス観光㈱、砂川商工会議所、たきかわ観光協会、砂川観光協会、小樽観光協会、北海道中央バス㈱、サッポロビール㈱

4　北海道が進める花観光事業に協力することを目的として、地域住民参加体験型の花と緑の魅力ある子どもの国づくり、並びに子どもの国が道民に対して緑の発信地となるための事業

事　業　名	協　働　団　体
花植え教室	地域ボランティア、北海道、NPO 法人ガーデンアイランド北海道
はな会議 （春・夏・秋）	地域ボランティア、北海道、NPO 法人ガーデンアイランド北海道

5　子育て世代の交流と親と子とのふれ合いの場を提供するたこと、夏季・冬季において施設を有効活用すること、幼児から高齢者までを対象に健康増進と心身ともに健やかな成長を目的とした事業

事　業　名	協　働　団　体
屋内遊具ひろば	砂川市、砂川ハイウェイオアシス観光㈱
歩くスキー貸出し 歩くスキーの集い	砂川歩くスキークラブ
雪山すべり台	砂川市、地元企業団体
スノーラフティング体験	砂川ハイウェイオアシス観光（㈱
子どもの国ウィンターフェスティバル	砂川市、砂川ハイウェイオアシス観光（㈱、北陽興業㈱、中央緑化土木㈱、㈱札幌ニット、㈱北菓楼、藤田設備工業、㈱北斗、砂川歩くスキークラブ

6　「北海道みんなの日」を広く道民に周知するため、有料施設を無料で開放し道民が北海道の価値を再認識し一体となってより豊かな北海道を築いていくとともに、道外に北海道の魅力を発信する事業

事　業　名	協　働　団　体
北海道みんなの日	北海道、北海道教育委員会、砂川市、砂川市教育委員会、

◎住民等との協働推進

区　分		R4	R5	R6	R7(実績)	R8
公園業務に対する地域住民との協働を推進する〔年間延べ参加数600人以上〕	指標値	600人	600人	600人	600人	600人
	目標値	600人	600人	600人	(358)人	600人

【支援施設】

事業執行に当たっては、地域・圏域の特性（まちづくりの方針、地域の産業、河川や自然環境等の地理的な特質、地域の歴史文化）を活かし、地域の団体や企業等と連携協力して事業を推進するとともに、地域の特産品や特色ある行事等に精通した地域住民等の指導を取り入れて事業を実施することにより事業効果を向上させ、利用者に好評を得て来ました。次期指定管理期間においても同様に事業を展開し、更に地域の実情を踏まえ地域と連携した事業の推進を図りました。

1　北海道遺産をテーマにしたプログラムを、地域との連携により推進しました。

（1）　空知の炭鉱関連施設と生活文化～石炭炊飯、石炭産業の学習

（2）　石狩川～河川と開拓・生活・文化・産業の係りの学習、河川防災の意識付け、石狩川関連施設の体験・見学、水棲動植物・昆虫の観察、水質調査

（3）　北海幹線用水路～北海灌漑溝の設置意義の学習と施設体験・見学

（4）　雨竜沼湿原～登山

（5）　北海道の馬文化～乗馬体験、馬車・馬そりの運行

2　地域の実情、風土や特色を生かした活動としてのプログラムを、地域との連携により推進しました。

農業体験と農業関連施設の体験・見学、自然散策、山菜採取及び調理、石山登山、草・花観察、バードウオッチング等

3　地域の団体等と連携した活動を推進しました。

すながわスイートロード協議会（お菓子づくり、野焼きパンつくり）、砂川菓子組合（お菓子づくり）、北菓楼（お菓子づくり）、ナカヤ菓子店（お菓子づくり）、ほんだ菓子司（お菓子づくり）、(株) ソメスサドル（革細工）、(株) いたがき（革細工）、(株)シロ（入浴剤作り）、吉川食品（株）、コバン牧場（乗馬体験、ミニ動物園）、ウヌマファーム（馬車運行）、ＮＰＯ法人どんころ野外学校（ラフティング、五右衛門風呂体験）、砂川子どもの水辺協議会（事業連携）、砂川市教育委員会（事業連携）、砂川市教育委員の会議（事業連携）、空知子ども会育成連合協議会・空知管内市町教育委員会連絡協議会（子ども初級リーダー研修会）、空知ゲートボール協会（屋内ゲートボールのつどい）、遊水地学習館（Ｅボート・釣り体験）、石狩川開発建設部（防災についての講義等）、川の科学館（水生動植物の観察）、砂川もちつき保存会（もちつき）、砂川消防署（レスキュー体験指導）、砂川スポーツチャンバラ協会（スポーツチャンバラ指導）、砂川市内家庭教育サポート企業（事業連携）、三谷果樹園（リンゴ狩り体験）、北翔大学幼稚園教諭コース（遊びの指導）、道民の森（環境学習、植樹）、空知総合振興局森林室（植樹）、ＮＰＯゆう（事業連携）、神内ファーム（馬文化の学習）、宮島沼水鳥・湿地センター（渡り鳥学習、環境学習）、ＮＰＯ楽知ん研究所（科学実験）、砂川絵手紙の会（絵手紙指導）、北海道三笠高校（講話、料理実演）、深川ア・エール（着衣水泳体験）、砂川図書館（読み聞かせ、図書借用）、歌志内弥六太鼓（太鼓演奏、体験）、新十津川町鼓狸（太鼓

演奏、体験)、砂川国際交流ふれあい委員会（英語事業連携)、北海道キンボール連盟（キンボール指導)、砂川農協（農業体験)、そらち炭鉱の記憶マネジメントセンター（石炭文化)、北海道地球温暖化防止活動推進員（環境学習)、砂川 B&G 海洋センター（海洋スポーツ体験)、滝川 B&G 海洋センター（海洋スポーツ体験)、三笠市ジオパーク（石炭文化)、エースタイルトレーナーズチーム（スポーツ、ヒップホップダンス指導)、八雲デジタルスポーツ射撃少年団（スポーツピストル指導)、北竜スラックラインクラブ（スラックライン指導)、滝川アーチェリー協会（アーチェリー指導)、二風谷アイヌ文化博物館（アイヌ文化体験)、道立総合研究機構林業試験場（森林環境学習)、砂川子どもセンター協議会（自然体験学習）

4　地域の学校や団体と連携し、協働事業を促進するため、アウトリーチ事業（職員の講師派遣）を推進しました。「ネイパル砂川アウトリーチ事業（職員の講師派遣）に関する取扱について」

5　家庭教育サポート企業事業及び子育て支援事業を、地域との連携により推進しました。

地域及び学校行事へのプログラム協力・支援、生活リズム向上の事業、読書活動の推進、英会話事業の実施（国際交流)、地産地消のお菓子作り、親子での自然体験活動機会の提供、ファミリーキャンプの実施

6　他の社会教育施設との連携等

北海道青少年教育施設協議会に加盟し、職員研修等に積極的に出席するとともに他施設との情報交換により、当施設の事業及び管理面の充実化を図りました。

7　地場商品消費拡大への協力

砂川市において推進されている、お菓子をテーマにしたまちづくり事業「すながわスイートロード」に賛同、協力し、地場商品消費拡大協力策として、食事提供時に地元菓子店のお菓子を提供し、砂川のお菓子をＰＲしました。また、地域で生産された米や生野菜などを可能な限り使用しました。

8　地域貢献

（1）　北海道みんなの日（7月 17 日）に、ネイパル砂川が保有するプログラム体験等のために施設を全面開放しました。

（2）　子どもの国を散策する利用者、歩くスキー利用者、ノルディックウォーク愛好団体等に対し、休憩場所としてネイパル砂川のロビーを開放しました。

（3）　野外炊事場、石窯などの施設利用希望があった場合は、ネイパル砂川事業や宿泊利用者等への支障が無い限り利用に供しました。

（4）　冬季間の地域住民の健康増進を図るためスノーシューを無料で貸し出すとともに、休憩所として施設を開放しました。

（5）地域の就労継続支援施設と施設の清掃業務等を契約し、一般的な事業所で働くことが難しい障がい者の職業訓練を支援しました。